

令和元年度の主な取組状況

I 圏域全体の経済成長のけん引

○中小企業の経営健全化・人材確保等支援

【連携市町】 岡山市、総社市、備前市、瀬戸内市、真庭市

- 10月16日に新規学卒予定者等を対象とした合同企業説明会「就活フェスタ秋の陣」を開催し、48社の企業及び68名の求職者が参加。
- 11月15日に円滑な事業承継に向けた中小・小規模企業向けのセミナー「M&A事業承継の新しい形セミナー」を開催し、23名が参加。

○食品製造業見本市共同出展

【連携市町】 岡山市、津山市、総社市、瀬戸内市、真庭市

- 食品製造業の販路開拓・拡大を支援するため、新たに総社市を加え、首都圏で開催される見本市へ共同ブースを設置。5市17企業が出展予定。

スーパーマーケット・トレードショー2020
【2月12日～14日 於：幕張メッセ】



【2019の見本市の様子】

○中小製造業海外販路開拓支援

【連携市町】 岡山市、総社市、赤磐市

- 11月25日に、圏域内の中小製造業とインドネシアの企業とのビジネス商談会を開催し、インドネシア企業8社、圏域内企業29社が参加。



【商談会の様子】

○圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信

【連携市町】 全市町

- 9月21日、22日にSNSによる情報拡散を図るため、平成30年度に造成した6つのモデルコースにもとづくモニターツアーを実施し、関西圏在住のSNS利用者12人が参加。
- 10月25日関西圏のフリーペーパーにモニターツアーの体験談の記事広告を掲載するとともに、WEB広告を活用した情報発信を行った。
- 吉備路サイクリングマップを更新し、自転車観光の利便性を向上。



【記事広告】

II 高次の都市機能の集積・強化

○ESD実践

【連携市町】 全市町

- ESD・SDGsの理解を深める研修会（岡山市、真庭市のSDGs未来都市の取組を取り入れた内容等）を岡山市、総社市、吉備中央町の3箇所で開催し、計77名が参加。



【研修会の様子】

○市民活動の広域展開と市民協働の推進

【連携市町】 岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町、吉備中央町

- 岡山市のウェブサイト開設した「つながる協働ひろば」で連携市町の協働の取組を紹介、NPO法人等の「こんなことができますリスト」を掲載し、課題解決につながるマッチングを推進。
- 岡山市で実施した官民協働事業のノウハウを連携市町のNPO法人等に移転。

III 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○移住促進連携

【連携市町】 全市町

- 連携市町による東京・大阪での移住相談会を3回開催し、計132組212名が参加。
- 実際の生活を体験できる移住下見ツアーを3回実施し、計25組35名が参加。



【移住相談会の様子】

○図書館相互利用

【連携市町】 岡山市、津山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町

- 新たに津山市、瀬戸内市の図書館を加え、相互利用（貸出・返却）を実施。
※瀬戸内市は平成30年10月から相互貸出に先行参加

○子どもパスポート

【連携市町】 全市町

- 圏域市町の小学生を対象に、圏域内の指定施設（教育・文化施設等）を無料で利用できるパスポートを作成・配布。
- 圏域内周遊につながるスタンプラリーを実施。景品のストラップを328本配布。

